

要求実現へさっそく行動



戦争法強行以来毎月行われている
19日市役所前集会に参加(中央)



作家の澤地久枝さんが呼びかけた
「3の日行動」に参加(右から2人目)



消費税増税への怒りや景気・まちづ
くりへの要望が寄せられています

かまの敏徳のお約束 住み続けられる下京区を 大型開発よりも社会保障、福祉の充実を

- 1 消費税10%への増税を中止します
くらし、中小零細企業を応援します
- 2 国民健康保険料、
介護保険料を引き下げます
- 3 認可保育所を増設します
- 4 子どもの医療費を
中学校卒業まで無料にします
- 5 高齢者福祉施設を
増設します
- 6 「観光公害」ストップ、
訪れて良し、住んで良しの下京区を
- 7 北陸新幹線誘致など大型開発優先、
規制緩和のまちづくり中止、
災害に強い下京区をつくります
- 8 下京区は大飯原発から62km、
原発ゼロ、再生可能エネルギーの
社会を実現します



かまの敏徳さんにバトンタッチ

かまの敏徳さんは京都総評副議長、京都生協労組委員長として、働くもの、パート、アルバイトの皆さんの労働条件、雇用の改善の先頭に

日本共産党 京都市会議員 山中 渡
立ってきた人です。また、経済と中小企業政策に強い人です。どこまでも市民のくらし応援を貫くかまの敏徳さんをよろしくお願いします。

日本共産党 かまの敏徳さんに期待します。



憲法九条に自衛隊を明記することに強く反対します。憲法の崇高な理念を実現しようとする政治がこの国には必要だと思います。

一念寺 住職 谷治 堯雲さん



「私のせいや」とつぶやく労働者に、力を合わせようと声をかけ続けてきた、かまのさん。庶民を襲う政治に「あり得へん」が口ぐせ。馬力に期待しています。

京都総評 議長 梶川 憲さん

消費者運動 32年 労働運動 くらし第一の思いを市政へ

甲子園を目指して野球に打ち込み、創意工夫と努力を継続することの重要性を学び、野球を通じて人生の土台を形成してきました。

京都生協で働き、安全で少しでも安いものを探すお母さん方、生活のためにダブルワークをされているパートのみなさんに接してきました。庶民に重くのしかかる消費税10%への引き上げは許せません。

毎日額に汗して働く方々のために、くらし応援の政治を今こそ実現すべきです。日本共産党市会議員団の大黒柱、山中渡議員のバトンをも私に引き継がせてください。全力で頑張ります。



日本共産党

下京区くらし・まちづくり委員長

かまの敏徳

としのり

市会

プロフィール ● 1964年生まれ54歳。立命館大学1部経営学部卒。京都生活協同組合で32年。京都総評副議長、京都生協労働組合委員長、全国一般京都地本委員長を歴任。趣味は野球、映画鑑賞、韓国語。

かまの敏徳

下京民報

日本共産党南地区委員会は、上記の見解を発表しました。

2019年2月発行／連絡先：日本共産党南地区委員会 〒600-8837 京都市下京区壬生川七条上る TEL：075-371-9164